

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第90回)

2019年 4月～6月期 実績

2019年 7月～9月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
---------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

業種別D I 値について・・・・・・・・	5
----------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

全体D I 値について・・・・・・・・	9
---------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移

比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
-----------------------	----

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較

（中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）

第82回・平成29年4～6月調査からは、依頼企業数を150社から270社へ増やすとともに、対象業種を6つに絞った（従来は10業種）。

これは、各地域・機関で行っている同様の調査結果と比較できるように工夫したもので、巻末に比較資料編を付けてある。

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和元年5月～6月
- ② 調査対象期間 今期（2019年4月～6月期）に対する前期（2019年1月～3月期）及び前年同期（平成2018年4月～6月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	218	(80.74%)
輸送機器	40	→	36	(90.0%)
その他製造	40	→	37	(92.5%)
建設業	50	→	33	(66.0%)
卸売業	30	→	26	(86.7%)
小売業	40	→	35	(87.5%)
サービス業	70	→	51	(72.9%)

5. D I 値について

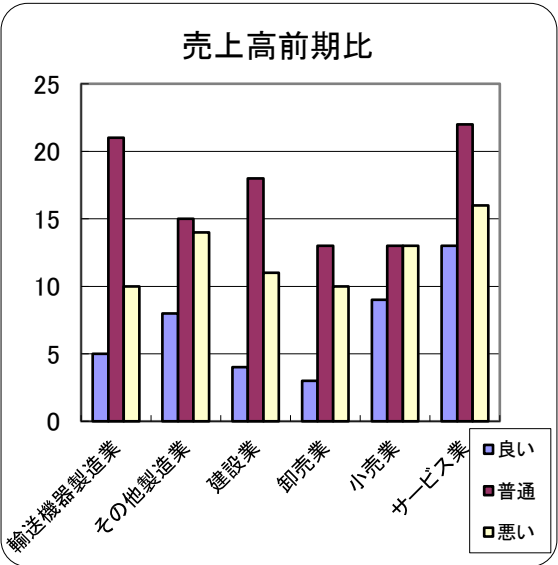
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

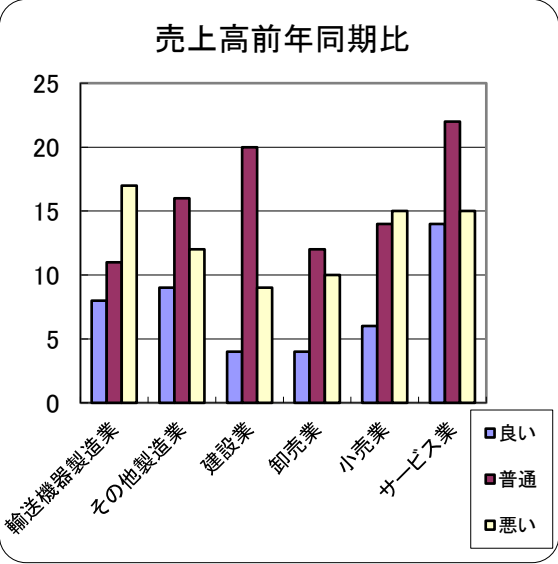
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	21	10	36	▲ 13.9
その他製造業	8	15	14	37	▲ 16.2
建設業	4	18	11	33	▲ 21.2
卸売業	3	13	10	26	▲ 26.9
小売業	9	13	13	35	▲ 11.4
サービス業	13	22	16	51	▲ 5.9
合計	42	102	74	218	▲ 14.7



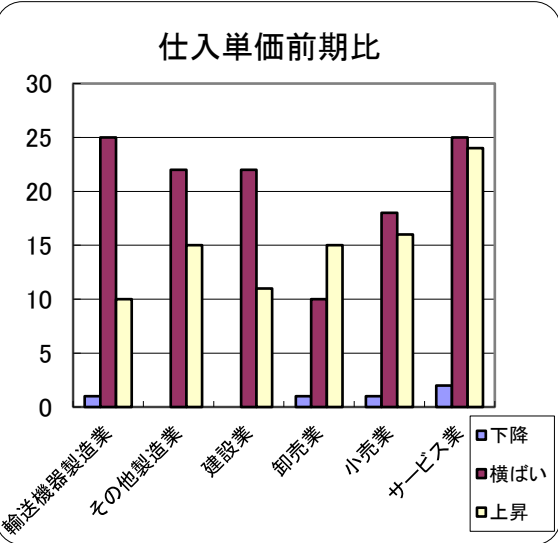
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	11	17	36	▲ 25.0
その他製造業	9	16	12	37	▲ 8.1
建設業	4	20	9	33	▲ 15.2
卸売業	4	12	10	26	▲ 23.1
小売業	6	14	15	35	▲ 25.7
サービス業	14	22	15	51	▲ 2.0
合計	45	95	78	218	▲ 15.1



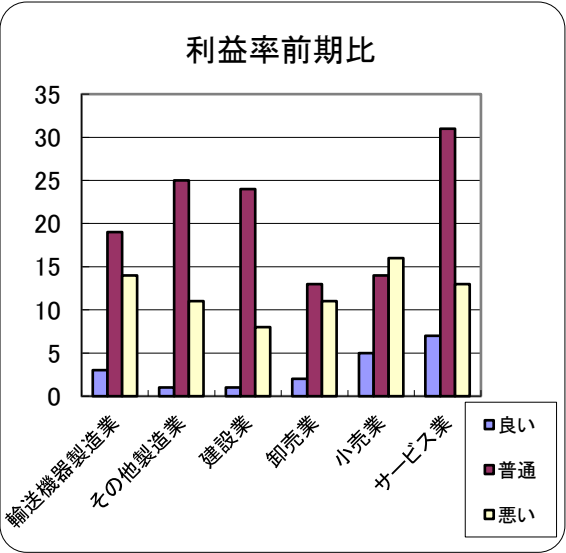
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	25	10	36	▲ 25.0
その他製造業	0	22	15	37	▲ 40.5
建設業	0	22	11	33	▲ 33.3
卸売業	1	10	15	26	▲ 53.8
小売業	1	18	16	35	▲ 42.9
サービス業	2	25	24	51	▲ 43.1
合計	5	122	91	218	▲ 39.4



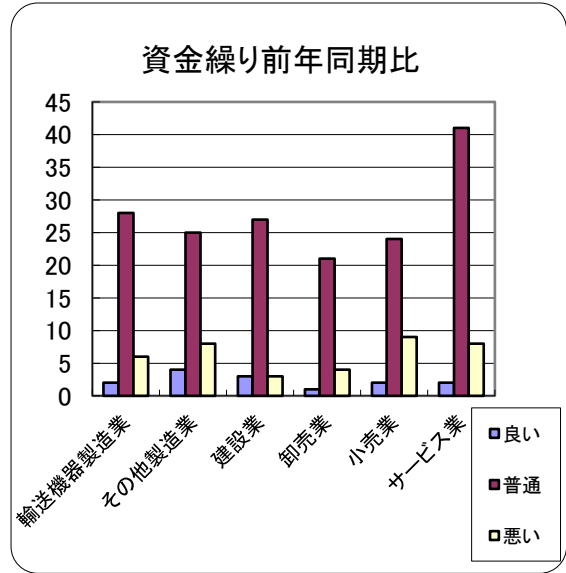
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	19	14	36	▲ 30.6
その他製造業	1	25	11	37	▲ 27.0
建設業	1	24	8	33	▲ 21.2
卸売業	2	13	11	26	▲ 34.6
小売業	5	14	16	35	▲ 31.4
サービス業	7	31	13	51	▲ 11.8
合計	19	126	73	218	▲ 24.8



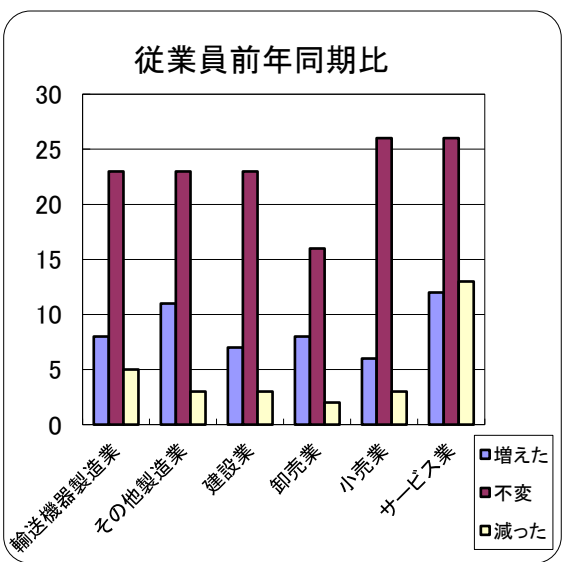
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	28	6	36	▲ 11.1
その他製造業	4	25	8	37	▲ 10.8
建設業	3	27	3	33	0.0
卸売業	1	21	4	26	▲ 11.5
小売業	2	24	9	35	▲ 20.0
サービス業	2	41	8	51	▲ 11.8
合計	14	166	38	218	▲ 11.0



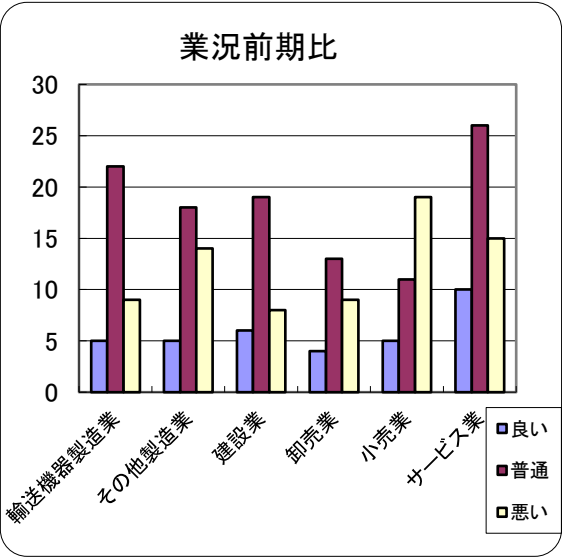
従業員前年同期比

	増えた	不変	減った	合計	DI値
輸送機器製造業	8	23	5	36	8.3
その他製造業	11	23	3	37	21.6
建設業	7	23	3	33	12.1
卸売業	8	16	2	26	23.1
小売業	6	26	3	35	8.6
サービス業	12	26	13	51	▲ 2.0
合計	52	137	29	218	10.6



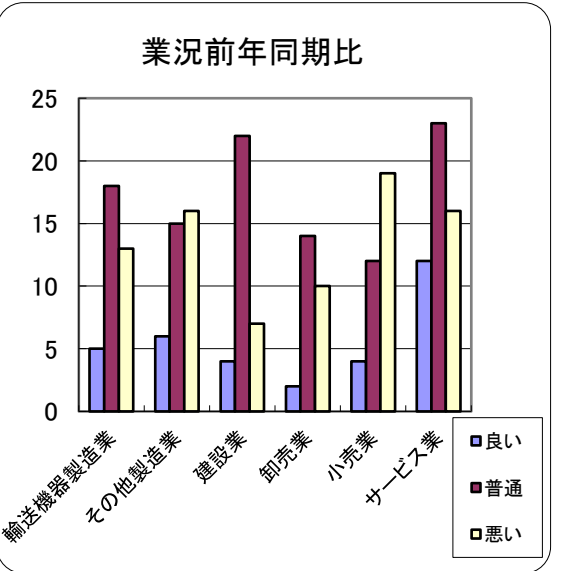
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	22	9	36	▲ 11.1
その他製造業	5	18	14	37	▲ 24.3
建設業	6	19	8	33	▲ 6.1
卸売業	4	13	9	26	▲ 19.2
小売業	5	11	19	35	▲ 40.0
サービス業	10	26	15	51	▲ 9.8
合計	35	109	74	218	▲ 17.9



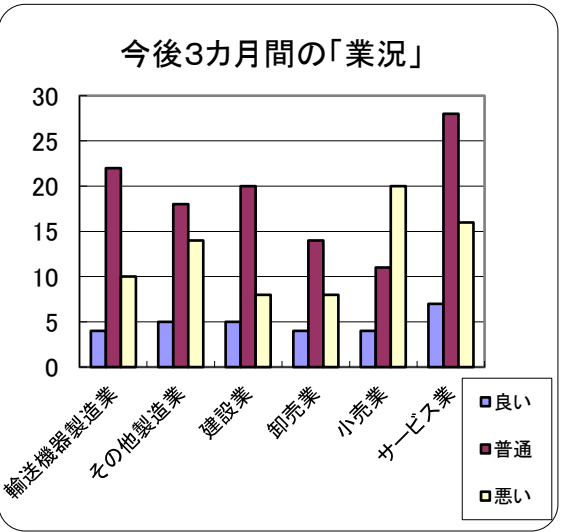
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	18	13	36	▲ 22.2
その他製造業	6	15	16	37	▲ 27.0
建設業	4	22	7	33	▲ 9.1
卸売業	2	14	10	26	▲ 30.8
小売業	4	12	19	35	▲ 42.9
サービス業	12	23	16	51	▲ 7.8
合計	33	104	81	218	▲ 22.0



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	22	10	36	▲ 16.7
その他製造業	5	18	14	37	▲ 24.3
建設業	5	20	8	33	▲ 9.1
卸売業	4	14	8	26	▲ 15.4
小売業	4	11	20	35	▲ 45.7
サービス業	7	28	16	51	▲ 17.6
合計	29	113	76	218	▲ 21.6



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1～3月期)	今期(4～6期)	比較増減
売上高前期比	▲ 33.3	▲ 13.9	19.4
売上高前年同期比	▲ 48.5	▲ 25.0	23.5
仕入単価前期比	▲ 27.3	▲ 25.0	2.3
利益率前期比	▲ 45.5	▲ 30.6	14.9
資金繰り前年同期比	▲ 27.3	▲ 11.1	16.2
従業員前年同期比	12.1	8.3	▲ 3.8
業況前期比	▲ 39.4	▲ 11.1	28.3
業況前年同期比	▲ 36.4	▲ 22.2	14.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 6.1	▲ 16.7	▲ 10.6

[企業コメントより]

- ・金型関係は、仕事量もあります。今期末は、売り上げが増える予定です。【鉄工業】
- ・米中問題を発端としたアメリカの関税率引き上げなど、海外不安要素に影響懸念【スプリング製造】
- ・受注量の増加【検査治具製造】
- ・客先の生産計画の見直し等により、売り上げは減少。【機械器具製造】
- ・2年前より納品上のクレームを出さないよう社員に指示していたが、昨年度その発生件数が激減した。これにより取引先の信用を勝ち取り、取扱いの種類の増加が実現した。【自動車塗装】
- ・自動車メーカー各社の生産ペースが鈍いと感じられます。通常であれば受注量減少分を新規受注で穴埋めしようと目指すところですが、“働き方改革”を考慮すると穴埋めは行わない事が得策と思える。【部品製造】
- ・新しいお客様の増加【金型設計製作】

その他製造業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 19.4	▲ 16.2	3.2
売上高前年同期比	▲ 13.9	▲ 8.1	5.8
仕入単価前期比	▲ 41.7	▲ 40.5	1.2
利益率前期比	▲ 13.9	▲ 27.0	▲ 13.1
資金繰り前年同期比	19.4	▲ 10.8	▲ 30.2
従業員前年同期比	8.3	21.6	13.3
業況前期比	▲ 27.8	▲ 24.3	3.5
業況前年同期比	▲ 13.9	▲ 27.0	▲ 13.1
今後3ヶ月間の業況見通し	5.6	▲ 24.3	▲ 29.9

[企業コメントより]

- ・人件費の負担増(要求品質のレベルUPに伴う)【部品製造】
- ・北米、国内向け設備の受注が堅調な為。【産業用機械製造】
- ・18年度下期の好調要因(電力会社営業活動・ZEH)が継続しています。
4～6月では、10月予定の増税影響はありません。【電機器具製造】
- ・一連の働き方改革やその法律により、経営者にとってはマイナス側面のみが目立つようになっている。また米中貿易戦争により中国の購買力が弱くなり、日本にも悪い影響を及ぼし始めている。一方で物流コストの引き上げで収益が圧迫される傾向が生じてきた。【食品製造】
- ・見通しは良い方向へ期待する。【畳製造】

建設業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 7.7	▲ 21.2	▲ 13.5
売上高前年同期比	▲ 28.2	▲ 15.2	13.0
仕入単価前期比	▲ 38.5	▲ 33.3	5.2
利益率前期比	▲ 17.9	▲ 21.2	▲ 3.3
資金繰り前年同期比	▲ 5.1	0.0	5.1
従業員前年同期比	0.0	12.1	12.1
業況前期比	▲ 12.8	▲ 6.1	6.7
業況前年同期比	▲ 20.5	▲ 9.1	11.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 7.7	▲ 9.1	▲ 1.4

[企業コメントより]

- ・人材不足に苦しんでいます。【総合建設業】
- ・新築工事は年々減っている。その分改修工事が増加している状況です。【防水工事】
- ・販売材料の値上げがあった一方、入札はこれから始まるころなので、今期分は悪い方向となっているが、次期は改善すると思われる。【給排水工事】
- ・消費税の増税にむけて工事メニューを見直しています。増税分の全部を値上げするわけにはいかないと考えています【管工事】

卸売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 21.7	▲ 26.9	▲ 5.2
売上高前年同期比	▲ 4.3	▲ 23.1	▲ 18.8
仕入単価前期比	▲ 56.5	▲ 53.8	2.7
利益率前期比	▲ 34.8	▲ 34.6	0.2
資金繰り前年同期比	▲ 8.7	▲ 11.5	▲ 2.8
従業員前年同期比	21.7	23.1	1.4
業況前期比	▲ 34.8	▲ 19.2	15.6
業況前年同期比	▲ 17.4	▲ 30.8	▲ 13.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 17.4	▲ 15.4	2.0

[企業コメントより]

- ・昨年末から4月まで続いていた受注が完了し、5月に受注残分の納入を終えて一段落した。以降、当月は苦戦中、7月以降の情報も乏しく季節商品の動向に注視していきたい。【建材卸売業】
- ・一般のリフォーム工事は減少している状態。外注工事の受注は増えているが、利益が落ち込んでいる。【建材卸】
- ・2019年10月、消費増税(軽減税率含む)に伴い、7月～9月は仮需要として増収となる見通しである。ただ、絶対消費が減少しているなか、どれほどの仮需が見込めるかがカギとなる。当然、商品流通のうえで物流経費も増えることを想定すると、増益となるかどうかは、なかなか厳しい状況。【食料品卸業】
- ・製造業の生産が落ちている。米中の貿易戦争の影響かと思われる。注文件数が前年と比較して減少している。【油販売】
- ・経営者及び従業員の高齢化のため、事業規模の縮小を考えていたところ、30代の若者が事業を引き継ぎたいと申し出があった。少しずつで良いので事業拡大を考えている所です。【食料品卸業】

小売業	前期(1～3期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 24.2	▲ 11.4	12.8
売上高前年同期比	▲ 15.2	▲ 25.7	▲ 10.5
仕入単価前期比	▲ 30.3	▲ 42.9	▲ 12.6
利益率前期比	▲ 30.3	▲ 31.4	▲ 1.1
資金繰り前年同期比	▲ 21.2	▲ 20.0	1.2
従業員前年同期比	12.1	8.6	▲ 3.5
業況前期比	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 6.7
業況前年同期比	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 9.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 33.3	▲ 45.7	▲ 12.4

[企業コメントより]

・いつものことですが、顧客層の変化がなく、客数が増えない。何とかしたいのですが、来店客を増やし街の活況を戻したいと思います【日用雑貨販売】

・来客数は多いが一人当たりの売上が少ない。特にイベントは、4～5年前に比べて少ない。

【食料品販売】

・買入単価が落ちている。販売点数も落ちている。【食料品販売】

・中堅従業員の退職により販売力(当社は小売業)が低下した。新規採用にかかる人件費、及び諸経費が上昇している。5月10連休は想定通りですが売り上げは悪かった。【日用雑貨販売】

・法事関連では家族葬が多くなっているなど、ギフトの売り上げが減少している。【日用雑貨販売】

・GWが悪天候で売り上げが悪かった。【食料品販売】

・5月10連休でお金を使っているので、今は消費が控えられる傾向にあります。【酒類販売】

・小学校・保育園の増加及び中学校の取引月が増加した為(平31年4月より)、仕事が忙しくなった関係で、パートを1人お願いしている。4月から13～16時に休憩時間とした。【食料品販売】

・前期に比べて業況見通しは悪いと思います。【食料品販売】

・仕入にかかるコストが高く、商品自体の値上げもあり、利益が少なくて困っている。【仏具販売】

・売上は減少傾向なれど、買掛けの決済も少ないので、資金繰りは楽観傾向にある。長期的には体力減退の雰囲気あり。【金物販売】

・今年はGW(10連休)の影響で5月の売り上げが前年より落ちました。(4月が良かったので全体的には横ばいです)【化粧品販売】

・販売は波が有り、去年が悪かったのが今年に期待したいが、消費税増後の動きにかかっていると思う。【楽器販売】

・店舗を増やした事で新規客が増えたが、新人の育成が追い付かず、忙しさは増すばかり。5月入社スタッフが成長できる環境を整え、一緒に目標にむかって頑張っていきたい。【化粧品販売】

・運転資金が足りず資金繰りが苦しいので、事業縮小を余儀なくされ厳しい状況です。【食料品販売】

・一般店にはない品揃えにすることで、リピーターを増やしている。【日用雑貨販売】

サービス業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 25.5	▲ 5.9	19.6
売上高前年同期比	▲ 19.1	▲ 2.0	17.1
仕入単価前期比	▲ 42.6	▲ 43.1	▲ 0.5
利益率前期比	▲ 29.8	▲ 11.8	18.0
資金繰り前年同期比	▲ 19.1	▲ 11.8	7.3
従業員前年同期比	▲ 8.5	▲ 2.0	6.5
業況前期比	▲ 23.4	▲ 9.8	13.6
業況前年同期比	▲ 27.7	▲ 7.8	19.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.8	▲ 17.6	▲ 4.8

[企業コメントより]

・都市対抗野球関連売上がなくなったため、売上減少。【放送サービス】

・燃料費をはじめとしてコストが相変わらず上昇しているので、車の稼働率が高いのに利益率は下がっています。これで消費税が上がったら、納税できなくなりそうです。【運送業】

・ゴールデンウィークの10連休により売り上げはアップしたが、その後の反動が怖い。最近は下降ぎみで何とかしなくては…【飲食業】

・テーブルオーダー端末を導入した。お客様からは進化してるねと言われるが、店、お客様両方とも慣れるまで大変だ。

①竹田クニ著『外食マーケティングの極意』を読んだ。業界の情報通なので講師として是非呼んでほしい。

②伊賀泰代著『生産性』を読んだ。飲食は生産性が低いと言われているので、どうすれば良いのか学びたい。こちらも講師として呼んで欲しい(こちらは業界を問わないので、会議所さんの的には呼びやすいと思います)

③岩崎邦彦氏の著作を読んでいる。中小零細企業のマーケティングについて学びたい。中小企業診断士の試験の問題を作成する側の人だとか。可能なら講師として呼んで欲しい。

①～③何卒よろしくお願い致します。【飲食業】

・売上高が減少したので、一般経費、人件費等の削減を目指し運営するのが必要と考えます。

目標の数字を確保する努力と宣伝広報に力を入れなければと考えます。【飲食等サービス】

・業況は概ね良好に推移しています。【飲食等サービス】

・特に変化無しです【理容業】

・米中の関税掛け合戦の影響で金属の国際相場が急落状況になっている。

今後、中国の製造が減少する恐れがあり、そうなれば国内製造分もゆるやかに減っていくだろう。製造が減れば金属屑も発生が落ち、状況は宜しくない。

また、追加で米国が日本向けの関税も上げる事を検討しているという事もあり、日本企業は米国への付度を先行させ、製造を米国に移す動きも見えるなど、今後も悲観的である。自動車メーカーの生産調整もダメージは大きく、令和元年が冷え込まない事を期待するだけ。【産廃処理業】

・長期のゴールデンウィークや、平成→令和の改元効果や東京オリンピックへの期待など、国民全体の気持ちの高揚感があると思う。【飲食業】

・保健所等の基準が厳しくなる面もあり、多少設備投資が必要になることもある。【飲食業】

・客(新規入会者)増加【英会話スクール】

・春の各種行事等の季節で、身嗜みを整える客の来店が増え、単価も上がりました。【美容業】

・10連休はあまりいい効果はなかった。【ガソリンスタンド】

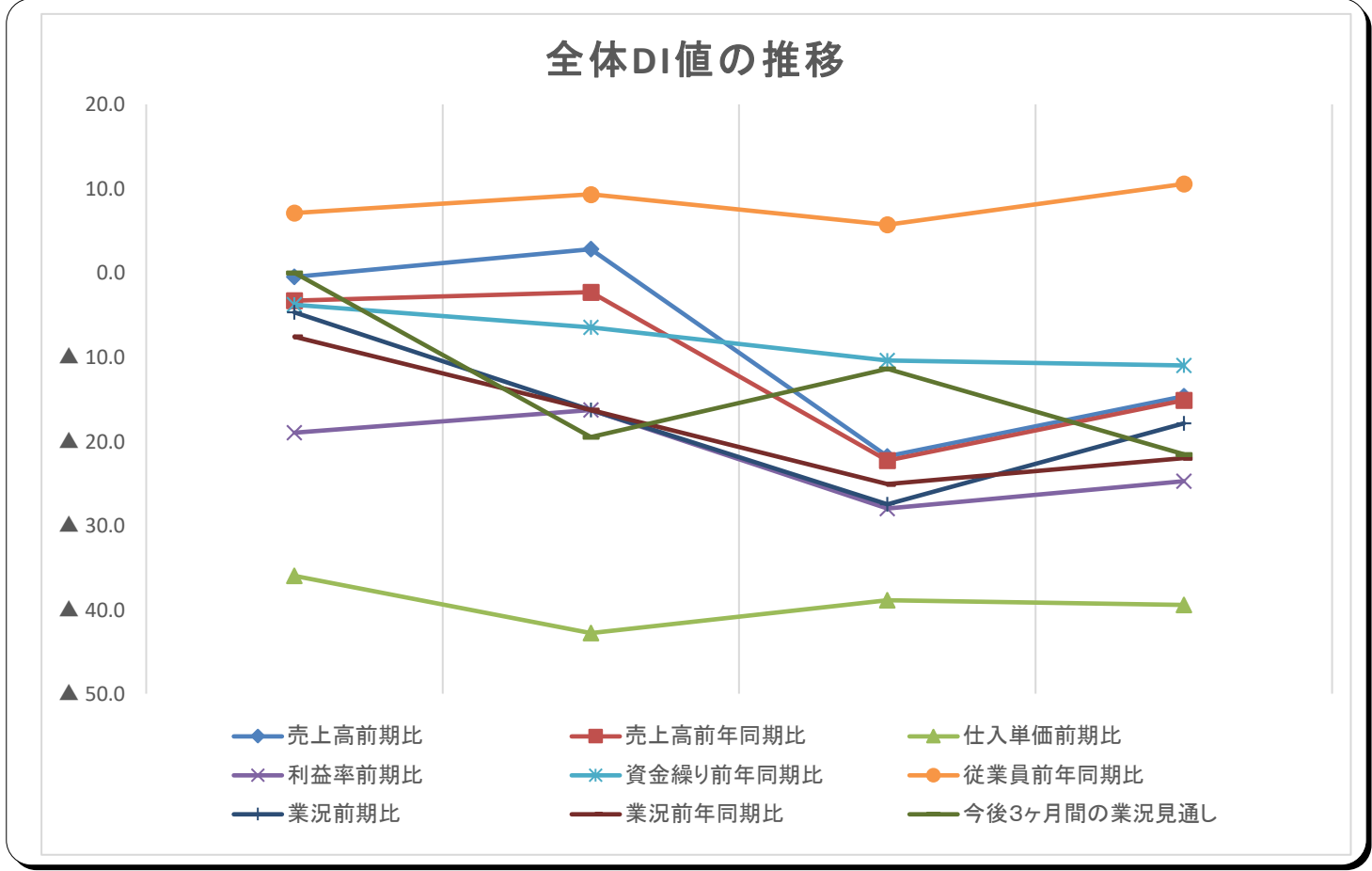
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 21.8	▲ 14.7	7.1
売上高前年同期比	▲ 22.3	▲ 15.1	7.2
仕入単価前期比	▲ 38.9	▲ 39.4	▲ 0.5
利益率前期比	▲ 28.0	▲ 24.8	3.2
資金繰り前年同期比	▲ 10.4	▲ 11.0	▲ 0.6
従業員前年同期比	5.7	10.6	4.9
業況前期比	▲ 27.5	▲ 17.9	9.6
業況前年同期比	▲ 25.1	▲ 22.0	3.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 11.4	▲ 21.6	▲ 10.2

(4) 動向について

- ・今回の調査では、売上高(受注)DI値は前期比・前年同期比ともに依然としてマイナス水準ながら1～3月に比べ上昇した。このため業況判断も同様にマイナス幅を縮小させている。
- ・一方、仕入単価は前期比で改善がみられず、利益率DIの上昇幅は売上に比べ小幅であった。
- ・従業員は、前年同期比で「増加」とする回答が「減少」を上回り、前期の水準から上昇した。
- ・なお、今後3か月間の業況見通しは、前回調査時に比べ「悪化」幅が拡大するなど、慎重な見方が広まっている。

全 体 D I 値 の 推 移	2018.7-9期	2018.10-12期	2019.1-3期	2019.4-6期
売上高前期比	▲ 0.5	2.8	▲ 21.8	▲ 14.7
売上高前年同期比	▲ 3.3	▲ 2.3	▲ 22.3	▲ 15.1
仕入単価前期比	▲ 36.0	▲ 42.8	▲ 38.9	▲ 39.4
利益率前期比	▲ 19.0	▲ 16.3	▲ 28.0	▲ 24.8
資金繰り前年同期比	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 10.4	▲ 11.0
従業員前年同期比	7.1	9.3	5.7	10.6
業況前期比	▲ 4.7	▲ 16.3	▲ 27.5	▲ 17.9
業況前年同期比	▲ 7.6	▲ 16.3	▲ 25.1	▲ 22.0
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 19.5	▲ 11.4	▲ 21.6



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 15.1	▲ 12.5	－	－
建設業	▲ 21.2	▲ 1.9	－	－
卸売業	▲ 26.9	▲ 10.7	－	－
小売業	▲ 11.4	▲ 22.0	－	－
サービス業	▲ 5.9	▲ 12.2	－	－
全 体	▲ 14.7	▲ 13.4	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 16.4	－	▲ 11.5	▲ 0.5
建設業	▲ 15.2	－	▲ 3.0	▲ 0.5
卸売業	▲ 23.1	－	▲ 15.4	
小売業	▲ 25.7	－	▲ 25.7	
サービス業	▲ 2.0	－	0.5	
全 体	▲ 15.1	－	▲ 10.4	▲ 0.5

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 32.9	－	▲ 49.1	－
建設業	▲ 33.3	－	▲ 47.4	－
卸売業	▲ 53.8	－	▲ 41.6	－
小売業	▲ 42.9	－	▲ 36.6	－
サービス業	▲ 43.1	－	▲ 40.1	－
全 体	▲ 39.4	－	▲ 43.0	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 28.8	▲ 20.0	▲ 20.6	▲ 4.8
建設業	▲ 21.2	▲ 9.4	▲ 13.0	▲ 3.8
卸売業	▲ 34.6	▲ 22.1	▲ 17.1	
小売業	▲ 31.4	▲ 30.7	▲ 26.1	
サービス業	▲ 11.8	▲ 17.8	▲ 9.4	
全 体	▲ 24.8	▲ 20.7	▲ 17.2	▲ 4.1

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 11.0	▲ 9.9	▲ 10.2	15.0
建設業	0.0	▲ 1.4	▲ 3.3	18.0
卸売業	▲ 11.5	▲ 7.6	▲ 10.2	
小売業	▲ 20.0	▲ 20.8	▲ 16.4	
サービス業	▲ 11.8	▲ 11.3	▲ 6.2	
全 体	▲ 11.0	▲ 11.8	▲ 9.3	17.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	15.1	▲ 0.7	—	—
建設業	12.1	▲ 1.9	—	—
卸売業	23.1	▲ 1.2	—	—
小売業	8.6	▲ 6.0	—	—
サービス業	▲ 2.0	▲ 4.8	—	—
全 体	10.6	▲ 3.4	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

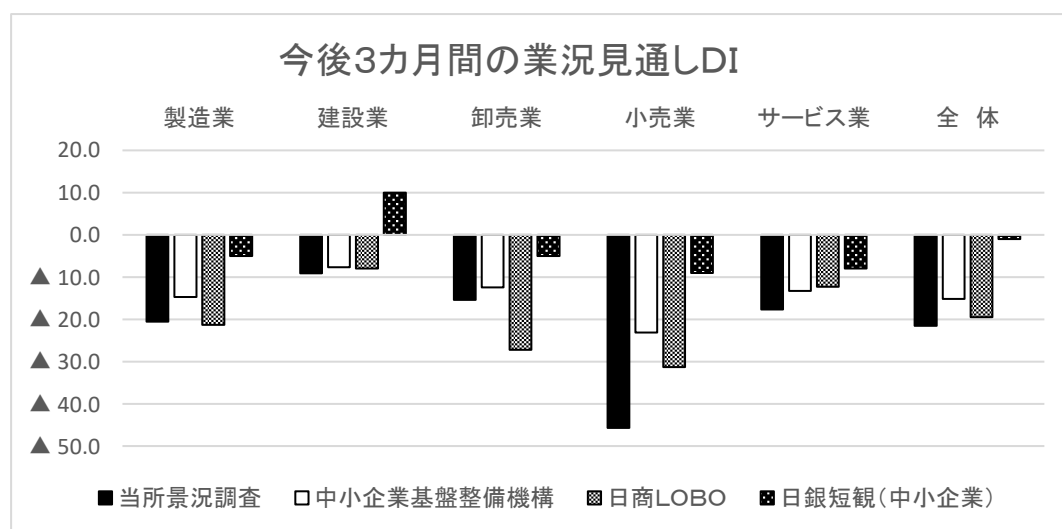
	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 17.8	▲ 15.0	—	▲ 1.0
建設業	▲ 6.1	▲ 2.0	—	22.0
卸売業	▲ 19.2	▲ 14.4	—	0.0
小売業	▲ 40.0	▲ 25.3	—	▲ 7.0
サービス業	▲ 9.8	▲ 14.3	—	▲ 4.0
全 体	▲ 17.9	▲ 15.5	—	6.0

⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 24.7	—	▲ 20.2	—
建設業	▲ 9.1	—	▲ 7.0	—
卸売業	▲ 30.8	—	▲ 21.9	—
小売業	▲ 42.9	—	▲ 30.5	—
サービス業	▲ 7.8	—	▲ 8.5	—
全 体	▲ 22.0	—	▲ 17.4	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.5	▲ 14.7	▲ 21.3	▲ 5.0
建設業	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 8.0	10.0
卸売業	▲ 15.4	▲ 12.4	▲ 27.2	▲ 5.0
小売業	▲ 45.7	▲ 23.1	▲ 31.3	▲ 9.0
サービス業	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 12.3	▲ 8.0
全 体	▲ 21.6	▲ 15.2	▲ 19.5	▲ 1.0



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2019年（令和元年）7月10日 発行